

# THE 42nd CONVENTIONS in osaka



## 第42回 全国青年保育者会議 大阪大会

日時: 令和3年9月1日～2日 大阪国際交流センター

[主催] 日本保育協会青年部 [主管] 日本保育協会大阪支部青年部

[後援] 厚生労働省・社会福祉法人日本保育協会・大阪府・大阪市



## 開催趣旨

### 大会テーマ

# 「好っきゃねん保育、やってみなはれ」 ～sunnokai sennokai～ やっぱりしまっせ

新型コロナウイルス。今では見聞きしない日はありません。昨年度始めに緊急事態宣言が発令され、今までの日常が一変しました。当たり前に行なっていたことが出来なくなり、先の見えない閉塞感のある日々が続いています。その中、保育の仕事はこのような社会状況であっても止まることなく各保育園、こども園において感染対策を行いながらの日々の保育、行事を進められていることと思います。改めて、保育の社会資源としての重要性を認識できたのではないのでしょうか。

さて、都市部においては待機児童解消のもと、保育施設は依然として増加傾向にあります。出生数（2020年）が87万人余りとなり、少子化は進んでいます。今後、新型コロナウイルスが出生数や経済状況に与える影響を注視し、地域に応じた施設の運営を進めて行かなければなりません。

また、コロナ禍の状況が子ども達の育ちや家庭環境にどのような影響があり、その対応を行っていく必要があります。保育は後退することなく、進めて行かなければなりません。困難な状況下であっても、試行錯誤しながら最善の保育を行う事が我々の使命ではないのでしょうか。

大会テーマである「好っきゃねん保育、やってみなはれ」は今一度、保育という仕事を志した時に立ち返り、難題や困難があろうとも、保育の楽しさや喜びを再認識して頂きたく思います。成長は一つひとつ積み上げであり、同様に私達も学びを積み上げ、子ども達によりよい保育を提供できるよう見識を深め、一人ひとりの向上心を伸ばすことを目的に開催いたします。

今大会は社会状況を踏まえ、例年とは異なり大会初のオンライン研修とさせていただきます。大会としての形は変わりますがオンラインとなることで、幅広く、多くの方にご参加頂き、学び多き大会にしたいと思います。

第42回全国青年保育者会議大阪大会

実行委員長 松井 秀樹

実行委員 一同

# 大会スケジュール

<日 時> 令和3年9月1日(水)～2日(木)

<会 場> 大阪国際交流センター(大阪市天王寺区上本町8-2-6 ☎06-6772-5931)

<参加費> 10,000円 / 1カ園(同施設において複数で視聴可能です)

<大会スケジュール>

|   |       |             |  |
|---|-------|-------------|--|
| 1<br>目<br><br>9<br>月<br>1<br>日<br>(<br>水<br>) | 開会式   | 10:00～10:30 |  |
|   | 基調講演  | 10:30～12:00 | 「現在を最も良く生きるために」<br>ー遊びをキーワードに指針を読み解くー<br>城東よつばこども園 園長：瀧薫氏  |
|   | 昼食・休憩 | 12:00～13:00 |  |
|   | 研修Ⅰ   | 13:00～14:30 | 「排泄の自立と保育」<br>広島大学大学院 准教授：中坪史典氏<br>立正佼成会附属佼成育子園 保育士：水野佳津子氏 |
|   | 休憩    | 14:30～14:50 |  |
|   | 研修Ⅱ   | 14:50～16:20 | 「人材育成における園長の役割」<br>玉川大学准教授：田澤里喜氏                           |
|   | おたのしみ | 16:20～17:00 | 吉本興業株式会社による漫才  |

|   |       |             |   |
|---|-------|-------------|---|
| 2<br>目<br><br>9<br>月<br>2<br>日<br>(<br>木<br>) | 行政説明  | 9:00～9:30   | 厚生労働省より   |
|   | 本部報告  | 9:30～10:00  | 日本保育協会 常務理事より   |
|   | 研修Ⅲ   | 10:00～11:30 | 「時代に即した持続可能な楽しい職場づくり」<br>東京立正短期大学 教授：須藤麻紀氏<br>日本保育協会青年部 人材育成委員会         |
|   | 昼食・休憩 | 11:30～12:30 |   |
|   | 研修Ⅳ   | 12:30～14:00 | 「園庭環境と幼児のあそび」<br>滋賀大学 准教授：山本一成氏<br>日本保育協会青年部 幼児教育・保育委員会                 |
|   | 休憩    | 14:00～14:20 |   |
|   | 研修Ⅴ   | 14:20～15:50 | 「子どもを育てる保育から子どもが育つ保育へ」<br>聖隷クリストファー大学 准教授：細田直哉氏<br>日本保育協会青年部 乳児教育・保育委員会 |
|   | おたのしみ | 16:00～16:40 | 吉本興業株式会社による漫才   |
|   | 閉会式   | 16:40～17:00 |   |

※ 2日目の午前中は管理者向けの研修になります。

## 基調講演

<日 時> 2021年9月1日(水) 10:30~12:00

# 「現在を最も良く 生きるために」

— 遊びをキーワードに指針を読み解く —

城東よつばこども園 園長 たき 瀧 かおる 薫 氏



### プロフィール

1962年 大阪生まれ 甲南女子大学卒業 民間の教育研究所勤務の後、スクールインターンとして南オーストラリア州ビクターハーバー幼稚園に一年間勤務。環境を通じた保育について学ぶ。

帰国後、学校法人泉新学園 城山台幼稚園 副園長 社会福祉法人任天会 日野の森保育園 園長を経て、2018年大阪市に社会福祉法人子どものアトリエを設立 理事長、城東よつば保育園 園長(2020年4月こども園に移行) 大阪芸術大学短期大学部 非常勤講師

乳幼児の発達を支える遊びや、保育環境としてのおもちゃ・絵本について全国各地で講演。

日本保育協会はじめ各地のキャリアパス研修では幼児保育・乳児保育分野を担当。

### 主な著書

- ・『保育と絵本』(エイデル研究所改訂版)
  - ・『保育とおもちゃ』(エイデル研究所改訂版)
  - ・連載『3・4・5歳児の環境づくり』(「保育とカリキュラム」ひかりのくに)
  - ・『保育と絵本 ～要領・指針にそって～』(「げ・ん・き」エイデル研究所)
  - ・『保育とおもちゃ～0・1・2歳児の保育環境を考える～』(「げ・ん・き」エイデル研究所)
  - ・『主体的な遊びが広がる保育環境』(「ちゃいるどネット」)
  - ・『子どもの発達に合わせたおもちゃの選び方』(「全国保育士会だより」2018年度)
- など

### 概要

子どもたちにとって、「現在を最も良く生きる」とは具体的にどんなことでしょうか。そのために、指針総則では「子どもが自発的・意欲的に関われるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にすること。」とされています。未来を生きる子どもたちにとって、これからの生きる力とは?いま保育の現場に求められることについて本音で意見を交わしましょう。指針のキーワードである「遊びと環境」を、発達にそって実践から読み解きながら「望ましい未来を培う力」について、一緒に考えましょう。保育について深く考えることは、私たち保育者一人一人にとっても、現在を最も良く生きることに繋がります。

# 研修 I

<日 時> 2021年9月1日(水) 13:00~14:30

## 「排泄の自立と保育」

なかつぼ ふみのり  
広島大学大学院 准教授 中坪 史典 氏

みずの かづこ  
立正佼成会附属佼成育子園 保育士 水野 佳津子 氏

### 中坪史典氏 プロフィール

長崎県出身。広島大学助手(教育学部)、琉球大学助教授(教育学部)、明星大学助教授(人文学部)を経て、2007年10月より、広島大学大学院准教授。

現在、一般社団法人国際幼児教育学会会長、日本乳幼児教育学会副会長、一般社団法人日本保育学会理事、日本子ども社会学会事務局長、第24-25期日本学術会議連携会員などを務める。

保育実践におけるフィールドワーク、保育者の専門性、保育カンファレンス・園内研修とリーダーシップ、保育の質が子どもの発達に与える影響などの研究に取り組んでいる。

#### 主な著書

- ・『エピソードでたどる排泄の自立と保育～近道・まわり道～』(解説、ひとなる書房、2019年)
- ・『複線径路・等至性アプローチ(TEA)が拓く保育実践のリアリティ』(編著、特定非営利活動法人ratik(電子書籍)、2019年)
- ・『テーマでみる保育実践の中にある保育者の専門性へのアプローチ』(編著、ミネルヴァ書房、2018年)
- ・『質的アプローチで拓く「協働型」園内研修をデザインする 一保育者が育ち合うツールとしてのKJ法とTEM-1』(編著、ミネルヴァ書房2018年)
- ・『保育を語り合う「協働型」園内研修のすすめ 一組織の活性化と専門性の向上に向けて』(編著、中央法規出版、2018年)
- ・『映像で見る主体的な遊びで育つ子ども 一あそんでぼくらは人間になる』(編著、エイデル研究所、2016年)
- ・『子ども理解のメソッドロジー 一質的実践研究アイディアブッカー』(編著、ナカニシヤ、2012年)
- ・『幼児理解からはじまる保育・幼児教育方法』(編著、建帛社、2009年)
- ・『児童文化がひろく豊かな保育実践』(編著、保育出版社、2009年) など



### 水野佳津子氏 プロフィール

宝仙短期大学保育科を卒業後すぐに母園である立正佼成会附属佼成育子園に勤務(現在勤務37年)。保育士として働かたわら、明星大学人文学部心理・教育学科(通信)3年次編入学士(教育学)及び同大学院人文学研究科教育学専攻(通信)博士前期課程修士(教育学)卒業。自身で書いた保育記録をもとに乳児保育の研究をつづける。

#### 主な著書

- ・『エピソードでたどる排泄の自立と保育～近道・まわり道～』(編著、ひとなる書房、2019年)
- ・『テーマでみる保育実践の中にある保育者の専門性へのアプローチ』(中坪史典共著、ミネルヴァ書房、2018年)
- ・『保育内容 環境』第3版(秋田喜代美他共著、みらい出版、2018年) など



### 概要

うんち、おしっこは待たなし!保育者の心づもりなど、おかまいなしにやってきます。子どもを責めても仕方ないと頭では分かっていても「まだ、出しちゃダメ!」「えっ、もう出ちゃったの?!」「ここでしちゃ、ダメでしょ!」など、どうしても負の感情がわき上がってくるものです。そんな保育者のみなさん、子どもの排泄について、少し見方を変えてみませんか?出なくてOK、失敗しても大丈夫。子どもの戸惑いに寄り添い、うれしいことは一緒に喜んで、まずはトイレタイムを楽しみましょう。はじめてのおしっこ成功!はじめてのパンツ!ハプニング続出の長い道のりには、その子だけの記念日が埋もれています。排泄だけして終わりなんてもったいないですよ。この研修を通して、さあ明日から、子どもとの新しい出会いを楽しみに、ワクワクした気持ちでトイレに向かいませんか? そう、トイレはもう一つの保育室です。

## 研修Ⅱ

<日 時> 2021年9月1日(水) 14:50~16:20



# 「人材育成における 園長の役割」

玉川大学 准教授 たざわ さとぎ  
田澤 里喜 氏

### プロフィール

玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科 准教授

学校法人 田澤学園 東一の江幼稚園 園長

1996年玉川大学卒業後、玉川学園幼稚部に担任として4年間勤務後、東一の江幼稚園に異動。また同年、大学院に進学し、在学中より、短大、専門学校の非常勤講師を経て、2005年より玉川大学教育学部講師(2013年より准教授)となる。また、2015年より東一の江幼稚園々長に就任。

#### 主な著書

- ・大豆生田啓友ほか共編著『これからの時代の保育者養成・実習ガイド』中央法規,2020
- ・若月芳浩 共編著『採用と育成の好循環を生み出す園長の仕事術』中央法規, 2020
- ・吉永安里 共編著『幼児教育から小学校教育への接続』世界文化社, 2020
- ・編著「年齢別保育資料シリーズ」(3, 4, 5歳児) ひかりのくに, 2019
- ・編著『あそびの中で子どもは育つ』世界文化社, 2018
- ・若月芳浩 共編著『保育の変革期を乗り切る園長の仕事術』中央法規, 2018

など

### 概要

「園長の言葉は案外重いですよ」これは私が幼稚園の園長になったばかりの時に主任に言われた言葉です。園長が園の雰囲気を知らず知らずの間に作っているのでしょう。

また、保育とは、人の根っこを育むことです。だからこそ、保育の考え方手法はどの年齢の教育にも通じる部分があり、それはもちろん人材育成にも通じます。

ということは、園長が保育を深く理解することが人材育成の課題のいくつかはクリアするでしょうし、保育の質の向上も目指すことができそうです。

## 研修Ⅲ

<日 時> 2021年9月2日(木) 10:00~11:30

# 「時代に即した 持続可能な楽しい 職場づくり」

すどう まき  
東京立正短期大学 教授 須藤 麻紀 氏  
日本保育協会青年部 人材育成委員会



### プロフィール

2013年白梅学園大学大学院子ども学研究科修士課程修了。臨床発達心理士。2018年より現職（東京立正短期大学現代コミュニケーション学科幼児教育専攻専任講師、大妻女子大学人間福祉学部人間福祉学科兼任講師）。幼稚園勤務を経て大学院で学ぶ。専門は保育学。保育者のキャリア形成、働きやすい環境づくりに関心を持ち、マネジメント研修、園内研修や保育カンファレンス等を行う。

### 主な著書

・『保育士等キャリアアップ研修シリーズ7 マネジメント』（萌文書林、2019年、共著）  
など

### 概要

タイトルは、青年部の先生方との対話の中で生まれたフレーズです。保育分野における人材確保は課題ですが、厳しい状況だからこそ生まれるアイデアがあり、試行錯誤しながら独自の取り組みに挑戦する園もでてきています。園の実情に応じて働き方や職場環境をデザインすることが楽しくなるような時間にしたいと思います。保育の分野で大事にされ、これからも継承したい価値観と、時代に合わせてしなやかに変えるべきことをみなさんと一緒に探りたいと思います。



## 研修Ⅳ

<日時> 2021年9月2日(木) 12:30~14:00



# 「園庭環境と 幼児の遊び」

やまもと いっせい  
滋賀大学 准教授 **山本 一成** 氏  
日本保育協会青年部 幼児教育・保育委員会

### プロフィール

京都造形芸術大学こども芸術大学にて保育者として勤務したのち、2017年に京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻を修了。博士(教育学)。研究テーマは、保育環境論、子どもの生態想像力など。

#### 主な著書

- ・『保育実践へのエコロジカル・アプローチ ―アフォーダンス理論で世界と出会う』(九州大学出版会、単著)
- ・『アートがひらく保育と子ども理解 ―多様な子どもの姿と表現の共有を目指して―』(東京学芸大学出版会共著)

### 概要

「園庭環境」という言葉から皆さんはどのような環境を想像されるでしょうか？

この研修では園庭環境の工夫と子どもの姿に関する実践報告(3園程度)から子どもの遊びや暮らしそのものが豊かになるヒントを探すとともに、大規模な工事や予算は伴わなくとも保育者のちょっとした意図や工夫ではじめられる、明日からの実践につながる学びを得ることを目指します。

「自然と触れ合ったり、自然を活用できる環境」「体を動かすことを楽しむ環境」「休息や穏やかな活動のための環境」

園庭の環境を捉える視点に、どの園にでも手に入るような自然物や身近な素材をどのように掛け合わせれば、子どもの遊びと暮らしが豊かになるのか？一緒に考えてみませんか。

## 研修 V

<日 時> 2021年9月2日(木) 14:20~15:50



# 「子どもを育てる保育から 子どもが育つ保育へ」

ほそだ なおや  
聖隷クリストファー大学 准教授 **細田 直哉** 氏  
日本保育協会青年部 乳児教育・保育委員会

### プロフィール

1971年山梨県生まれ。東京大学文学部哲学科卒業、東京大学大学院教育学研究科修了。大学院修了後、教育の原点を求めて、中学校特別支援学級と小学校の教員を経験した後、人間の生活の原点を求めて、新潟の山奥でアイガモ農法の農家に弟子入り。その後、保育者養成の世界に入り、大学に勤めながら、森のようちえんの理事長を務めた。現在、聖隷クリストファー大学社会福祉学部こども教育福祉学科准教授。

専門は、教育学・保育学・心理学。現在の研究テーマは「子どもの心身が育つ保育環境」。

#### 主な著書

- ・『あそんでまなぶ わたしとせかい』（みらい・共著）
  - ・『希望としての保育環境：アフォーダンスの視点でみる園環境』（フレーベル館「保育ナビ」2017年度連載）
- など多数

### 概要

「10の姿より100の言葉 100の言葉より1000の喜び」

この言葉は、私たち乳児教育・保育委員会が、大切にしたい思いです。

保育者は、子どもたちと共に生活し、遊び、多様に工夫する中で、子どもたちの笑顔やその成長を感じた瞬間に保育者としてのやりがいや喜びを感じるのではないのでしょうか。

保育の質を高めるための第一歩は、子どもの成長を日々感じながら、日常の“楽しい”“嬉しい”という瞬間が集まって積み重なっていくことだと考えています。乳児期だからこそ大切にしたいことを再確認しながら、保育の考え方を少し変化させたり、今ある環境や保育のやり方に少しの工夫をしたりして子どもが育つ乳児保育をみんなで考えていきたいと思います。

## おたのしみ

# 【吉本興業】 出張型お笑いイベント in大阪国際交流センター



<日 時> 2021年9月1日(水) 16:20~17:00  
2021年9月2日(木) 16:00~16:40

吉本興業所属のお笑い芸人が、会場に向いて皆様を楽しませます!!  
大阪のなんばグランド花月やよしもと漫才劇場の舞台上で活躍している芸人が、  
日本保育協会の全国青年保育者会議のためだけにネタを披露  
テレビや劇場では見られない内容が見られるかもしれません♪♪  
さらに、  
吉本新喜劇の座員によるスペシャルムービーも予定しております。  
是非、たくさんのご参加お待ちしております。



※出演するタレントは決定次第お知らせいたします。  
※写真はイメージです。

## 申し込みのご案内

この度、『全国青年保育者会議大阪大会』が、大阪府で開催の運びとなりましたことを心よりお祝い申し上げます。

大会の参加に際し、皆様の参加登録の受付を東武トップツアーズ(株)大阪法人事業部 第二営業部にてお取り扱いさせていただくことになりました。

つきましては下記の通りご案内申し上げます。

### 【事前申し込み】

◆参加申し込みは、事前申し込みを原則とさせていただきます。

- ・大会参加申し込みは第42回全国保育者青年会議大阪大会参加申し込みURL (<https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/seinenhoiku/>)で、受付ます。



◆参加費はカード決済、もしくは銀行口座にお振り込みとなります。

◆事前申し込みの参加費は、以下の通りです。

**参加費：10,000円 / 1カ園**（同施設において複数で視聴可能です）

◆事前申し込みの期間は、

**令和3年7月1日（木）～ 7月31日（土）**です。

- ・カード支払、銀行支払ともに入金をもって事前申し込みが完了いたします。
- ・令和3年8月10日（火）までに入金をお済ませください。なお参加費は、一度お振り込みいただくとキャンセルできませんのでご注意ください。

◆事前申し込み完了の後、視聴サイトのご案内をメールにて送付いたします。

◆抄録について

- ・参加の申し込みをいただいた方に対し、後日大会HPのURLをメールにて送付いたしますので、そちらをご覧ください。
- ・なお分科会資料についてはHPよりダウンロードして下さい。

### 【大会参加時の留意点】

- ◆大会に参加された方は守秘義務にご留意ください。会場内での撮影ならびに録音はご遠慮ください。なお、大会運営側が原則として会場で録音をしますが、これは大会の記録として残すもので他の目的での利用はありません。ご了承ください。
- ◆視聴サイトを拡散、SNSへの投稿なども禁止いたします。必ずお支払いした方のみ視聴していただきますよう、ご理解の程宜しく申し上げます。

### 【個人情報の取扱いについて(重要)】

東武トップツアーズ(株)は、お申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡や、旅行手配のために必要な範囲内での輸送・宿泊機関・保険会社等の提供するサービスの手配および受領のための手続きに利用させていただき、必要な範囲内で当該機関、手配代行者および大会主催者に提供いたします。それ以外の目的では利用いたしません。

※上記のほか、当社の個人情報の取扱いに関する方針につきましては、当社のホームページでご確認ください。

当社ホームページ <https://www.tobutoptours.co.jp>

### 【お申し込み問合せ先】

東武トップツアーズ株式会社

大阪法人事業部 第二営業部 担当：澤本・辻本・田中

観光庁長官登録旅行業第38号

一般社団法人日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2丁目2番28号 堂島アクシスビル7F

TEL：06-6344-3927 FAX：06-6344-3928

受付時間：平日9：30～17：30（土日祝日は休業とさせていただきます）



旅行業公正取引  
協議会 会員